

○事業所名	地域生活支援センターかのん(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2026年 9月 23日		～ 2026年 9月 30日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2026年 9月 23日		～ 2026年 9月 30日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 10月 2日			

○ 分析結果(保護者評価17件・従業者評価12件を踏まえて整理)

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性やその時々の状態を丁寧に把握し、本人が安心して楽しく過ごせるよう、個性を大切にした支援を行っている。保護者からも、こどもの様子をよく観察して対応していることや、職員から新たな気づきを得られることについて肯定的な意見が寄せられている。	個々のこどもの状態・興味・希望を継続的に把握し、支援計画と日々の支援に反映する取組を継続する。	支援内容とそのねらいを記録・共有し、職員間で実践の振り返りを行うことで、個性の高い支援をさらに充実させる。
2	放課後等デイサービス計画に沿った支援、活動内容の工夫、長期休暇等を含めた多様な活動の提供が評価されている。本人の特性や興味に合わせ、外出先や活動内容を工夫している点も強みである。	活動の選択肢を広げながら、本人の意向や地域資源も踏まえた活動を継続する。	地域との交流や外出活動について、本人の特性や安全面を踏まえながら、参加機会の充実を検討する。
3	保護者との相談・面談や日常的な情報共有を大切にし、安心して相談できる関係づくりができている。また、清潔で過ごしやすい環境、職員の配慮、親子レクリエーションや通信等による情報発信についても肯定的な評価が多い。	保護者との面談・相談・日々の情報共有を継続し、こどもの変化や支援上の気づきを分かりやすく共有する。	保護者が必要な情報をより把握しやすいよう、支援内容、行事、相談方法、安全面の取組等について、分かりやすく継続的に発信する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運営規程・利用者負担等の説明、日頃のこどもの状況に関する情報共有について、「わからない」等の回答が一定数みられた。必要な情報が保護者全員に十分届くよう、説明・周知方法を整理する必要がある。	説明や情報発信の方法・頻度が、保護者によっては十分に認識されていない可能性がある。また、必要性を感じていない保護者もいるため、情報の内容と伝え方を整理する必要がある。	契約時・面談時・通信等を活用し、運営規程、利用者負担、支援内容、相談方法等を確認できる機会を設ける。情報提供の方法を職員間でも統一する。
2	放課後児童クラブ等との交流や地域のこどもとの活動について、「わからない」「いいえ」の回答がみられた。職員評価でも地域活動や関係機関との連携について共通理解を深める必要がある項目がみられたため、事業所として取組内容を職員・保護者に分かりやすく共有することが課題である。	地域交流や関係機関との連携は、こどもの特性、安全面、利用時間等により実施機会が限られる場合がある。また、実施している外出・地域活動が「地域交流」として伝わっていない可能性がある。	地域での外出・施設利用等について、実施の目的や本人への効果を保護者に伝える。関係機関との連携状況や役割についても職員間で共有し、可能な範囲で地域との接点を広げる。
3	安全計画や非常時の訓練・対応について、「わからない」とする回答が複数みられた。また、職員評価でも安全計画等について職員間の共通理解をさらに深める必要がある項目がみられた。	安全計画や訓練の内容が専門的になりやすく、保護者・職員双方にとって具体的な取組が分かりにくい場合がある。	避難訓練、安全計画、緊急時対応等について、実施内容や役割を職員間で確認するとともに、保護者にも分かりやすく定期的に周知する。